



宮崎県立農業大学校



**MIYAZAKI
AGRICULTURAL
JUNIOR
COLLEGE**

2026 学校案内



学校教育方針



校訓「自律・創造・協調」を基調とした教育をとおして、農業県・宮崎における実践農業の教育機関として、将来、本県の農業を担う人材を育成する

農業大学校が目指す人材像

- 01 時代の流れを的確に捉え、持続可能で新たな農業に意欲的にチャレンジする農業経営者
- 02 グローバルな視点を持って、未来を切り開き、郷土愛を持って地域の創生・発展をけん引するリーダー



「生産する力(生産技術)」 をはぐくむ

- 講義、演習、農業実習で「生産する力」の向上を図る
- インターンシップ、自主企画研修等の校外学習で「生産する力」の向上を図る

「課題を解決する力(課題を見つけ 計画的な取り組みで解決する力)」 をはぐくむ

- 専攻実習における「プロジェクト学習」で「課題を解決する力」の向上を図る
- 「地域連携型プロジェクト学習」で「課題を解決する力」の向上を図る

※地域連携型プロジェクト学習とは・・・
高校、農家・法人、関係機関とのコンソーシアム
方式による連携・共同プロジェクト学習

「経営する力(経営管理)」 をはぐくむ

- 農業経営科目の講義や農業実習で「経営する力」の向上を図る
- 校外学習や学生出資社会(アグリカレッジひなた)で「経営する力」の向上を図る

社会性をはぐくむ

- 農家・農業法人における研修、企業連携商品開発、流通・販売学習をとおして、地域社会において積極的に活動し、「ネットワークを構築する力」の向上を図る
- 「地域連携型プロジェクト学習」をとおして「社会で活躍する力」の向上を図る
- 学生自治会活動や寮生活をとおして「コミュニケーション力」や「協調性」の向上を図る

農業県 日本のひなた宮崎のフィールドで 農業を学ぶ

魅力1

広大なフィールドに夢を描く

全国の農業大学校のなかでもトップクラスの広大なほ場と家畜飼養頭数を誇る牧場で、様々な実習を行っています。

魅力2

経営のための確かな力を身につける

専門的な知識や技術を有する大学や県試験場、民間企業、関係団体等から講師を招へいし、高度な講義・実習を行っています。

魅力3

先進的な経営に触れる

県内で活躍する生産者や農業法人等と連携して、様々な先進事例について実践的な講義や実習を行っています。

魅力4

6次産業化による経営発展の ノウハウを身につける

本県の特徴ある農畜産物を活用した加工技術や新商品開発、販売戦略について実践的な講義・実習を行っています。

魅力5

会社経営のノウハウを身につける

学生出資会社アグリカレッジひなたで、会社経営や、流通、販売について実践的な演習・実習を行っています。

魅力6

先端技術を身につける

環境制御装置付きハウスやスマート農機、ドローン、分娩監視カメラ等の先進的なスマート農業機器を実際に活用し、実践的な講義・実習を行っています。

魅力7

持続的農業のための技術を身につける

全国に先駆けて、有機農業やGAP(農業生産工程管理)の実践的な講義・実習を行っています。

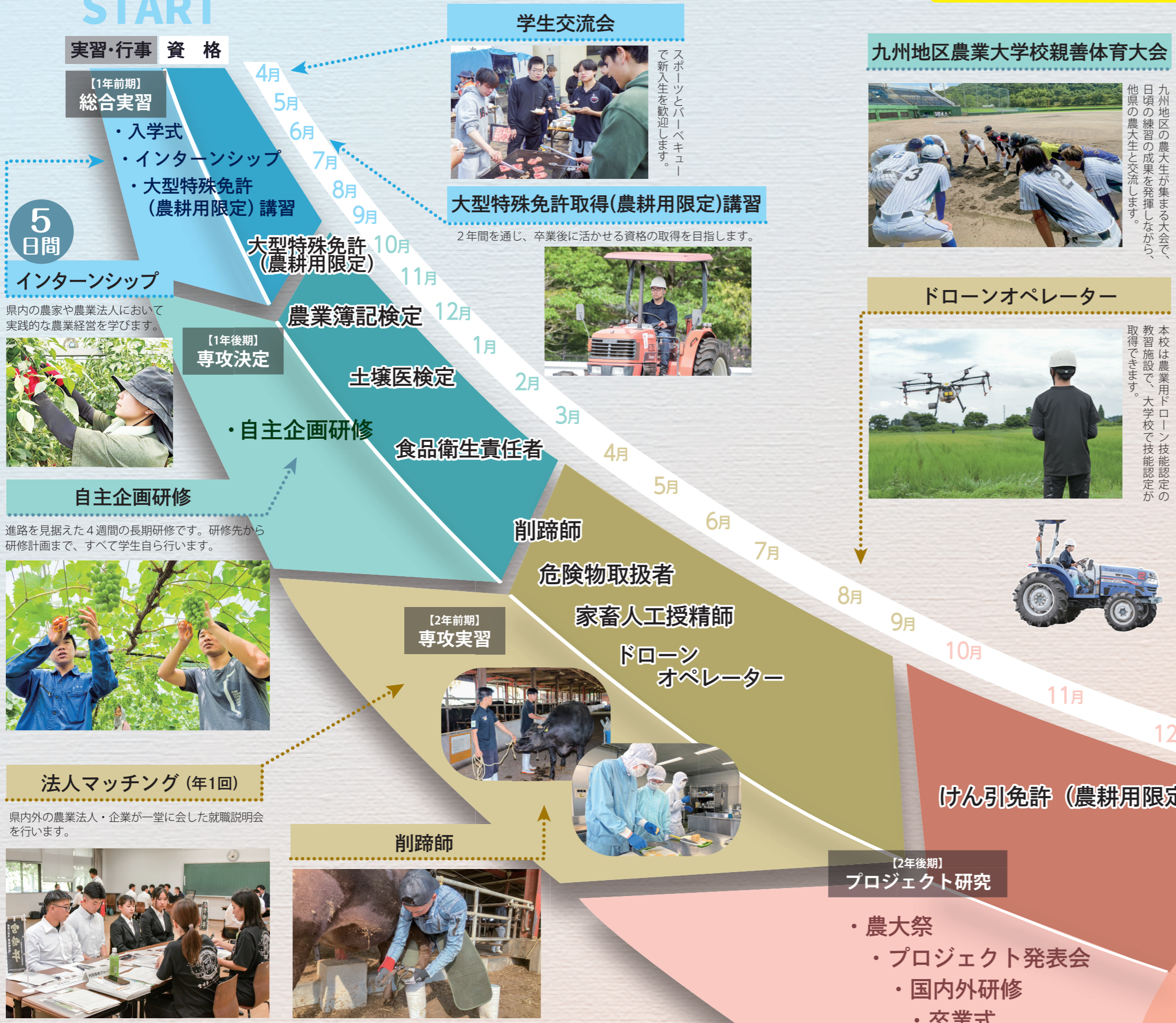
魅力8

社会で即戦力となる力を身につける

本校内の教習コースを活用した大型特殊免許(農耕用限定)や、農業用ドローンのオペレーター技能認定をはじめ農業経営で活用できる多様な資格取得のための講義・実習を行っています。

「次世代の経営者」を育成するカリキュラム

START



卒業と同時に「宮崎県農業士」と「専門士」の称号が授与されます。また、4年制大学編入の受験資格が得られます。

九州地区農業大学校親善体育大会

九州地区の農大生が集まる大会で、日頃の練習の成果を発揮しながら、他県の農大生と交流します。

農大祭(年1回)

毎年11月に開催されます。学生が丹精込めて育てた農畜産物や加工品の販売を行います。

ドローンオペレーター

本校は農業用ドローン技能認定の教習施設で、大学校で技能認定が取得できます。

プロジェクト発表会

各専攻で取り組んだ研究成果を発表します。成績優秀者は九州大会や全国大会に出場します。

国内外研修

国内外でのファームステイや先進事例の視察研修等を通して、視野を広げます。

けん引免許(農耕用限定)

- ### 【2年後期】プロジェクト研究
- ・農大祭
 - ・プロジェクト発表会
 - ・国内外研修
 - ・卒業式

GOAL

就農・就職・進学

農学科

募集定員
40名

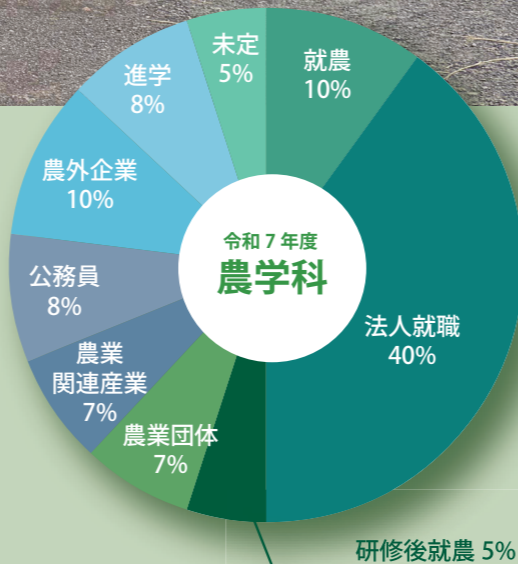
- 作物専攻
- 野菜専攻
- 花専攻
- 果樹専攻
- 茶専攻
- フードビジネス専攻

6つの専攻・教育の特徴

本県で栽培されている品目の栽培技術、商品化技術、農産物の加工・販売等についての実践学習を通して生産技術と経営スキルを身に付け、将来、本県農業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成します。

卒業後の進路

- ▶ 就農
- ▶ 海外農業研修（アメリカ）
- ▶ 株式会社ひむか農園
- ▶ 株式会社宮崎アグリアート
- ▶ 農事組合法人夢ファームたろぼう
- ▶ ベジエイト株式会社
- ▶ (有)ファームヤマト
- ▶ 宮崎県農業協同組合
- ▶ 小川香料株式会社
- ▶ ヤンマーアグリジャパン（株）
- ▶ 志布志市役所、八代市役所
- ▶ 島根大学、高知大学 など



環境制御装置付ハウス

施設園芸のスマート農業として、ハウス内の様々な栽培環境を測定したデータを活用した実習を行います。



直進アシスト付トラクター

露地野菜や水稲等のスマート農業として、機械の操作方法を学び、実習での耕うんや作付に活用しています。



GAPに対応した出荷調整室

野菜・果樹専攻では、GAPに対応した農産物取扱施設で、生産物の出荷調整を行います。ひなた GAP、MIYAZAKI-GAP を取得しています。

作物専攻



穀物やイモ類、露地野菜などの土地利用型作物の栽培技術と経営について学びます

学習科目

普通作物・露地野菜の栽培管理、病害虫基礎、作物の流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

早期水稲、小麦、原料用・青果用甘藷、キャベツ、白菜、大根など

野菜専攻



施設野菜の栽培技術と経営について学びます

学習科目

施設野菜の栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、施設野菜の流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

ピーマン、メロン、ミニトマト、中玉トマト、いちご、きゅうり、なすなど

花専攻



切り花や鉢物の栽培技術と経営について学びます

学習科目

花きの栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、花きの流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

スイートピー、ランタンキュラス、ダリア、トルコギキョウ、デルフィニウムなど

農畜両学科から選択可能！

果樹専攻



落葉果樹や常緑果樹、熱帯果樹等の栽培技術と経営について学びます

学習科目

果樹の栽培管理、病害虫基礎、園芸施設と環境、果樹の流通・販売、先進農業事例研究など

栽培内容

マンゴー、ライチ、みかん、日向夏、ぶどうなど

茶専攻



茶の栽培・加工技術と経営について学びます

学習科目

茶の栽培管理、病害虫基礎、茶の加工、茶の文化・歴史、茶の流通・販売、先進農業事例研究など

※実習は宮崎県総合農業試験場茶場支場でを行います。

栽培内容

茶（煎茶、釜炒り茶、半発酵茶、発酵茶）など

フードビジネス専攻



農畜産の生産から加工、流通、販売、消費について総合的に学びます

学習科目

食品製造、マーケティング、フードビジネス、食品基礎、食品衛生管理、食品の機能性

栽培内容

焼き菓子類、パン、乳製品、肉加工品など（栽培実習あり）

GAP等について 農学科は、以下のとおり GAP 認証を受けており、学生が主体となって取り組んでいます。

- ・ひなた GAP（宮崎県が定める基準）…2024年11月認証 認証取得品目：原料用かんしょ青果物1品目
2025年3月認証 認証取得品目：スイートピー、ランタンキュラスの花き2品目
- ・MIYAZAKI-GAP…2026年2月認証 認証取得品目：ピーマン、メロン、マンゴーなど青果物9品目、米（玄米）、小麦の穀物2品目

在学中に取得が可能な資格 作物専攻・野菜専攻・花専攻・果樹専攻・茶専攻・フードビジネス専攻

日本農業技術検定（2、3級）・農業簿記検定（2、3級）・日商簿記（3級）・車両系建設機械技能講習・大型特殊（農耕用）免許・けん引（農耕用）免許・ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育・ボイラー取扱技能講習・危険物取扱者（乙種）・毒物劇物取扱責任者・玉掛け技能講習・移動式小型クレーン技能講習・フォークリフト技能講習・ドローン検定（1、2、3級）・ドローンオペレーター技能認定・情報処理検定（初級2、3級）・フラワー装飾技能士（2、3級）・グリーンマスター認定試験・土壌医検定（2、3級）・食品衛生責任者・食品安全検定初級・食品表示検定試験初級

畜産学科

募集定員
25名

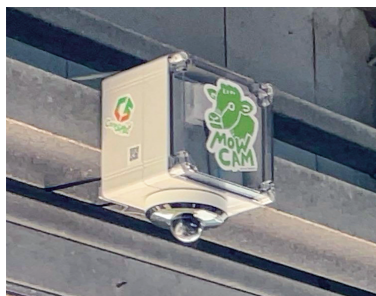
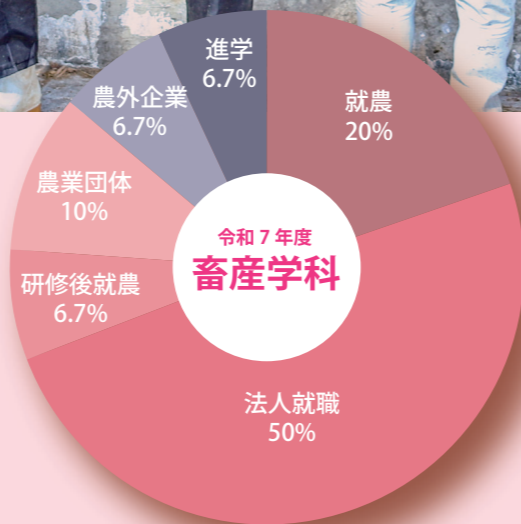
- 肉用牛専攻
- 酪農専攻
- 養豚専攻
- フードビジネス専攻

4つの専攻・教育の特徴

本県で飼育されている家畜の飼養管理・繁殖管理に関する技術、出荷の方法、畜産物の加工・販売等についての実践学習を通して、生産技術と経営スキルを身に付け、将来、本県畜産産業に夢を持って意欲的に取り組む人材を育成します。

卒業後の進路

- ▶ 就農
 - ▶ 全農ET研究所
 - ▶ 株式会社大塚牧場
 - ▶ 株式会社松浦牧場
 - ▶ 株式会社松永牧場
 - ▶ (株) 森ファーム宮崎
- ▶ 牛商丑力株式会社
- ▶ みらいグローバルファーム(株)
- ▶ 有限会社協同ファーム
- ▶ 宮崎県農業協同組合
- ▶ 独立行政法人家畜改良センター
- ▶ 東海大学、酪農学園大学 など



ICT機器等の活用

畜産分野のスマート農業として、酪農専攻でバルクーラーの温度管理、肉用牛専攻は発情や分娩のタイミングにICT機器等を活用して飼養管理を行います。



搾乳施設

学生が朝夕2回搾乳を行い、切碇琢磨しながら飼養管理を行っています。また、令和3年にJGAPを取得しています。



大型機械での作業

約12ヘクタールの広大な圃場で、トウモロコシやイタリアンライグラスなどの飼料作物を生産しており、学生が実際に大型機械に乗って播種・収穫作業を行います。

肉用牛専攻



肉用牛の飼養管理技術や繁殖・肥育経営について学びます

学習科目

家畜の栄養と飼料、家畜の育種と繁殖、肉用牛の飼養衛生管理、家畜の衛生と環境、家畜繁殖技術、肉用牛・酪農経営概論、肉用牛経営の営農計画演習など

飼育内容

繁殖牛（黒毛和種）45頭
肥育牛（黒毛和種）40頭

酪農専攻



乳牛の飼養管理技術や酪農経営について学びます

学習科目

家畜の栄養と飼料、家畜の育種と繁殖、乳牛の飼養衛生管理、家畜繁殖技術、肉用牛・酪農経営概論、酪農経営の営農計画演習など

飼育内容

乳用牛 20頭

養豚専攻



豚の飼養管理技術や養豚経営について学びます

学習科目

家畜の栄養と飼料、家畜の育種と繁殖、豚の飼養管理、家畜繁殖技術、養豚経営概論、養豚経営の営農計画演習など

飼養内容

母豚 30頭
※実習は宮崎県畜産試験場川南支場で行います。

フードビジネス専攻

フードビジネス専攻のポイント

- 1 「生産」から「販売」までをトータルで学ぶ
農学科・畜産学科から選択でき、生産（1次産業）だけでなく、加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）を一体化させた「6次産業」を実践的に学びます。
・加工実習：校内の農畜産物を使い、製菓・製パン、肉加工、乳加工を行います。
・商品開発：理論と実践を基礎から学び、新商品の企画から流通までを体験します。
- 2 ビジネスの「最前線」をプロから学ぶ
座学だけでなく、現場のプロから直接指導を受けられるのが強みです。
・講師陣：現場で活躍するプロを招き、経営やマーケティングの「今」を学びます。
・経営スキル：単なる物づくりに留まらず、会社経営のノウハウも学びます。
- 3 食の信頼を支える資格取得
食の安全やルールに関わる、実務に直結した資格が取得可能です。
・食品衛生責任者
・食品表示検定
・食品安全検定

農畜両学科から選択可能！



- ・食品加工に関する知識を身につけたい
- ・農畜産物の加工特性を学びたい
- ・衛生管理について学びたい
- ・高付加価値化や商品開発にチャレンジしたい

就農後に6次産業にチャレンジ
農業・食品関連企業への就職
宮崎の農業を食を通して支える

JGAPについて

畜産学科は、以下のとおりJGAP認証を受けており、更新審査など学生が主体となって取り組んでいます。

- 認証年月：2021年12月
- 認証品目：乳用牛・生乳、肉用牛
- 認証基準：JGAP農場用管理点と適合基準 畜産 2022_2

在学中に取得が可能な資格

肉用牛専攻・酪農専攻・養豚専攻・フードビジネス専攻
日本農業技術検定（2、3級）・農業簿記検定（2、3級）・日商簿記（3級）・車両系建設機械技能講習・大型特殊（農耕用）免許・けん引（農耕用）免許・ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育・ボイラー取扱技能講習・危険物取扱者（乙種）・毒物劇物取扱責任者・玉掛け技能講習・移動式小型クレーン技能講習・フォークリフト技能講習・ドローン検定（1、2、3級）・ドローンオペレーター技能認定・情報処理検定（初級2、3級）・家畜人工授精師・2級認定牛削蹄師・家畜体内受精卵移植師・家畜商・食品衛生責任者・食品安全検定初級・食品表示検定試験初級

農大生のとある1日



寮生
通学生

7:00 起床

7:30 朝食

8:30
登校

6:00 起床

7:20 ~ 8:20 通学

8:40
朝礼

8:50 ~ 12:10
1 ~ 3 限目

12:10 ~ 13:10
昼休み

13:10 ~ 16:30
4 ~ 6 限目

23:00
就寝

19:00 風呂

17:00 夕食

16:40 帰寮

17:00 ~ 18:00 通学

ある1日の時間割

時間	科目
1 8:50~9:50	農業簿記基礎
2 10:00~11:00	英会話 I
3 11:10~12:10	
お昼休み	
4 13:10~14:10	総合実習
5 14:20~15:20	
6 15:30~16:30	



レストラン



お風呂



寮の部屋



寮ロビー



保健室



草原教室



図書館

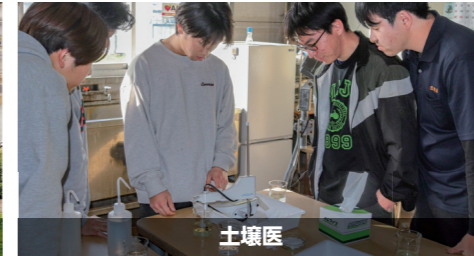


体育館

農大で取得可能な主な資格



大型特殊免許（農耕用限定）等



土壤医



削蹄師



車両系建設機械技能講習



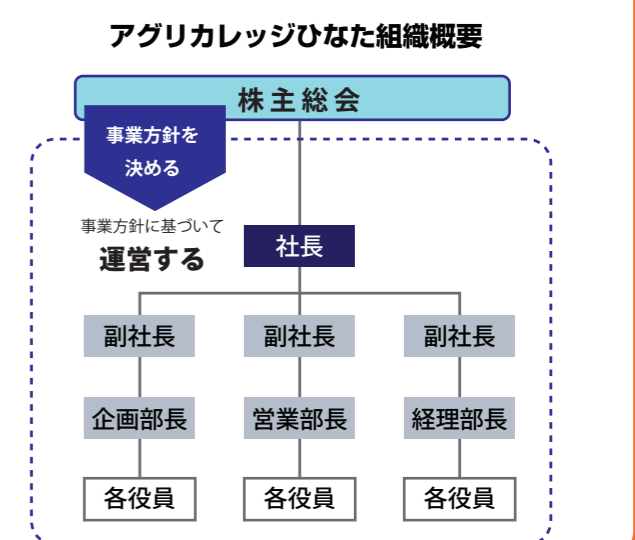
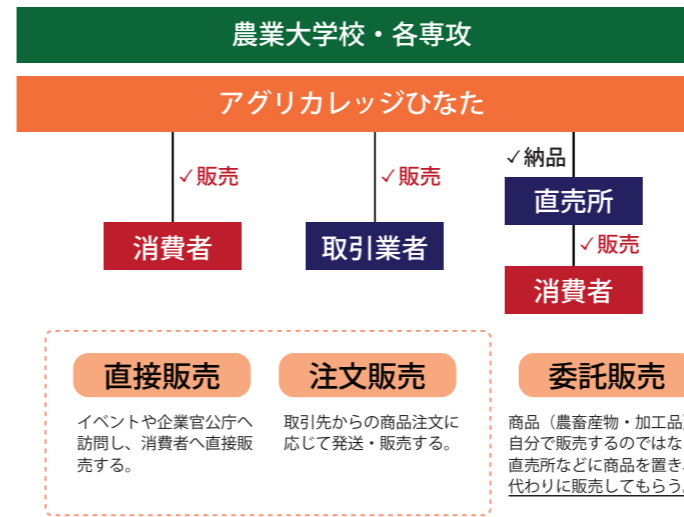
ドローンオペレーター技能認定



家畜人工授精師（牛・豚）

学生が運営する株式会社で経営を学ぶ《アグリカレッジひなた》

アグリカレッジひなたは、学生が出資・運営を行う「模擬会社」です。学生が社長をはじめ、営業・企画・経理といった各部署の組織運営もすべて行っています。主な活動は、契約店舗での委託販売や「農大市」「農大祭」といった即売会の企画・運営です。また、「ハロウィンかぼちゃ祭り食べKID秋フェス」などの地域イベントにも積極的に参加しています。さらに、会計帳簿の作成から旅費精算、税務申告まで、実務を通じた本格的な会社経営を学ぶことができます。



先輩たちのVOICE



農学科 2年 野菜専攻 藏田 煌大

私の実家は施設きゅうりを経営しており、より高い専門知識を学ぶため農業高校から農業大学校へ進学しました。野菜専攻では、後継者として就農したのために、夏のきゅうり栽培が無い時期に栽培しようと考えているナスを中心に学んでいます。他にもドローン操作や大型特殊免許などの資格取得にも挑戦しています。日々、仲間と助け合いながら楽しく学び、充実した学生生活を送っています。



畜産学科 2年 酪農専攻 本田 煌明

私は、畜産の仕事に携わりたいと考え農大に進学しました。入学してから3ヶ月間は総合実習の期間で肉用牛、酪農、養豚全ての専攻を学習します。その期間の中でシビアな飼料設計が求められる酪農を学びたいと考え酪農専攻を選びました。日々の講義で学んだ知識を農場での実習で実際に実践しながら技術のスキルアップを行っています。また、大特、家畜人工授精師、削蹄師などの将来に活かせる資格取得にも積極的に取り組んでいます。



農学科 2年 フードビジネス専攻 甲斐 陽菜

実家が食品加工をしており、将来は私自身も家業に携わりたいと考え農大のフードビジネス専攻に進学しました。普通科高校から農大へ進学したため、初めは専門的な授業についていけない不安もありましたが、フードビジネス専攻では基礎から丁寧に学ぶことができ、日々理解を深めることができています。食品の加工だけでなく、マーケティングの授業や学生出資の模擬会社であるアグリカレッジひなたの中で実践的な経営を学ぶことができています。

卒業生たちのVOICE



畜産学科 平成28年度卒 田崎 大二郎

大学受験で思うような結果が出なかったことや、将来は家業の畜産を継ぎたいとの思いから、4年生大学への編入を視野に入れ農大へ進学しました。農大では実習中心の学びで実践的な牛の飼養管理技術を習得することができました。編入試験にも挑戦し、英語と専門科目を中心に対策を行い鹿兒島大学の3年次に進学することができました。農大での実習経験は編入後も大きな強みになりましたし、大学での人脈や指導教員とのつながりは、今も大きな財産になっています。



農学科 令和5年度卒 中山 健

現在は農業法人で収穫から出荷まで担当しています。在学中はできるだけ資格をとろうと考え積極的に資格取得に取り組みました。資格を持っていることで任される仕事の幅が広がり現場で役立っていると実感しています。また、寮生活も強く印象に残っています。共に過ごす時間が長いからこそ深い信頼関係が築けました。今でも同級生とは連絡を取り合い情報交換を行いますし、同じ分野で働く仲間の存在は社会に出てからも大きな支えになっています。



畜産学科 令和7年度卒 水流 風翔

私は将来、家畜人工授精師になりたいと考え農大に入学しました。そのため、家畜人工授精師や家畜受精卵移植師などの資格取得には特に力を入れて取り組みました。その他の資格についても、将来自分の可能性を広げるものと考え興味を持った資格を取得していった結果、在学中に17種もの資格を取ることができました。卒業後は、北海道の全農ET研究所で3年間研修することが決まっており、家畜繁殖技術をさらに研鑽します。

在学中の必要経費（2年間）

1年生

2年生

A 校納金

入学金： 5,650円

授業料： 118,800円

授業料： 118,800円

B 学生預金

460,000円 通学生 360,000円

460,000円 通学生 360,000円

教材費、資格取得費、寮経費、保険代、国内外研修費等を含む

A + B (2年間) 1,163,250円 (通学生 963,250円)

C 食費 25,000円～35,000円程度/月 1,250円/日

※経済情勢の変動により、価格改訂を行う場合があります。

新規就農者育成総合対策(就農準備資金)

国の事業を活用した就農支援が受けられます。

対象者 卒業後、独立・自営就農、
または農業生産法人に就農する学生

交付額 最大165万円/年（2年間）

※要件や審査があります。

お問い合わせ▶(一社)宮崎県農業振興公社 TEL:0985-51-2011

奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金が利用できます。

①給付型奨学金

②貸与型奨学金(第一種・無利子)

③貸与型奨学金(第二種・有利子)

※給付型の採用を受けた学生は、入学金・授業料の免除が受けられます。

お問い合わせ▶日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp>

配置図



交通アクセス



JR 日豊線
高鍋駅下車 北へ 8 km



タクシー
高鍋駅より約 15 分



バス
宮崎交通バス 高鍋営業所発 都農行き「農業大学校前」下車



宮崎県立農業大学校

〒884-0005
宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733番地
TEL 0983-23-0120 / FAX 0983-22-2529

▼ホームページ



▼Facebook

